

**新国立劇場ニュース**

報道関係者各位

(全3枚送付)

2022年6月17日

公益財団法人 新国立劇場運営財団

**新国立劇場 演劇公演 英語字幕導入のお知らせ**

新国立劇場の演劇公演につきまして、2022/2023 シーズンの以下の公演で英語字幕を導入することが決定いたしました。

海外招聘公演『ガラスの動物園』(2022年9-10月上演)、日本の劇作家の新作シリーズ【未来につなぐもの】第一弾『私の一ヶ月』(2022年11月上演)、第二弾『夜明けの寄り鯨』(2022年12月上演)において、英語字幕を表示いたします。

対象公演日、表示方法は以下の通りです。

■ 海外招聘公演『ガラスの動物園』(フランス語上演)

字幕表示方法：舞台上のスクリーンに日本語・英語のバリアフリー字幕を表示します。

対象公演：全公演日(2022年9月28日~10月2日)

■ 【未来につなぐもの】新作 I 『私の一ヶ月』(日本語上演)

字幕表示方法：手持ち型ポータブル字幕機を貸出します。(予約不要、先着順) \*

ポータブル字幕機の貸出し対象公演日は後日お知らせいたします。

■ 【未来につなぐもの】新作 II 『夜明けの寄り鯨』(日本語上演)

字幕表示方法：手持ち型ポータブル字幕機を貸出します。(予約不要、先着順) \*

ポータブル字幕機の貸出し対象公演日は後日お知らせいたします。

\*ポータブル字幕機の貸出しは、英語版ウェブボックスオフィスでのチケットご購入の方を優先、かつ先着順とさせていただきます。

## 【各公演詳細】

海外招聘公演『ガラスの動物園』（フランス語上演／日本語・英語バリアフリー字幕付）

公演期間：2022年9月28日（水）～10月2日（日）

会場：新国立劇場 中劇場

作：テネシー・ウィリアムズ

演出：イヴォ・ヴァン・ホーヴェ

制作：国立オデオン劇場（フランス・パリ）

出演：イザベル・ユペール、ジュスティヌ・バシュレ、  
シ ril・ゲイユ、アントワヌ・レナール



後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

2020年3月にオデオン劇場制作によりワールドプレミアを迎えたテネシー・ウィリアムズの代表作の招聘公演です。主演のアマンダ役にはフランスを代表する女優であり、映画、舞台と幅広く活躍するイザベル・ユペール、演出には、話題作を次々と発表し、今最も世界が注目する演出家、イヴォ・ヴァン・ホーヴェがあたります。

## 【未来につなぐもの】新作 I 『私の一ヶ月』

公演期間：2022年11月2日（水）～11月20日（日）

会場：新国立劇場 小劇場

作：須貝 英

演出：稲葉賀恵

出演：村岡希美、藤野涼子、久保酎吉、つかもと景子、大石将弘、岡田義徳

後援：ブリティッシュ・カウンシル

\* 令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

2019年5月から英国ロンドンのロイヤルコート劇場と新国立劇場が協力して行ってきた劇作家ワークショップから生まれた作品。あらゆることが加速度的に進んでいく現代で、そこから弾き飛ばされた人々が描かれます。舞台は貧しく寒い地方都市の、ある家庭とコンビニエンスストア。都内の大学図書館の閉架書庫。その三つの場所を主軸に物語は進みます。

## 【未来につなぐもの】新作 II 『夜明けの寄り鯨』

公演期間：2022年12月1日（木）～12月18日（日）

会場：新国立劇場 小劇場

作：横山拓也

演出：大澤 遊

出演：小島 聖、池岡亮介、小久保寿人

森川由樹、岡崎さつき、阿岐之将一

楠見 薫、荒谷清水

\* 令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

いま演劇界で注目の劇作家・横山拓也の新作です。和歌山県の港町を舞台に、25年前に自分が傷つけたかもしれない男性の面影を追う、一人の女性をめぐる物語です。ひとのこころの内面を静かに描く、まさに横山拓也ならではの劇世界です。

## 【より多くの方に公演をお楽しみいただくための新国立劇場の取り組み】

新国立劇場では、より多くの方に舞台芸術、公演をお楽しみいただけるよう、様々な取り組みを行っております。演劇部門では、目や耳に障がいのあるお客様のための観劇サポートを、2018/2019シーズンから定期的実施しています。外国人のお客様向けのサービスとしては、2018/2019シーズンから一部のオペラ公演、2019/2020シーズンからすべてのオペラ公演で英語字幕を表示しています。

報道関係者各位におかれましては、一般の皆様への周知にご協力をお願いします。

### 【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

広報室：松延、小松、西島

TEL：03-5352-5781 / FAX：03-5352-5709 / E-mail：[press@nntt.jac.go.jp](mailto:press@nntt.jac.go.jp)

演劇広報：関 TEL：03-5352-5738 / FAX：03-5352-5709 / E-mail：[seki\\_m0616@nntt.jac.go.jp](mailto:seki_m0616@nntt.jac.go.jp)